





「群言堂」創業者
Daikichi Matsuba
松場 大吉 氏
Tomi Matsuba
松場 登美 氏

2/14 (金) 11:00~

T-9 子育てとまち育て
~松場夫妻の石見銀山での取り組み~

松場 大吉 / 1953年、鳥根県大田市大森町生まれ。1998年に妻の登美と共に株式会社石見銀山生活文化研究所を設立...

松場 登美 / 1949年、三重県津市生まれ。夫の実家・兵庫県養父市「松田屋」の片岡で、布小物の製造・販売を始める...

こんな取り組みを
されています ▶▶ NHKでも放送！人口400人 石見銀山の豊かな子育て、まち育て

~こんな方におすすめ~

- ✓そこではできない、地域文化を育む教育の実践について知りたい方
✓生活と文化を同時に豊かにしていく持続的なまちづくりについて知りたい方



1. 古民家を活用しながらのまちづくり

鳥根県大森町（石見銀山）を拠点に、古い町並みや家屋を再生しながら地域の活性化に取り組んでいます...

2. 存続危機の保育園を絶やさない

園児数が2名まで減り閉園の危機にあった保育園を地域の方で存続させました。補助が打ち切られる中、地域住民と共に資金を集めて保育園を維持し...

3. 地域文化を大切にしたい教育

地域に根ざした教育を重要視し、地域の自然や文化を活かして保育活動に取り組んでいます...



学校法人軽井沢風越学園 理事長
Shinnosuke Honjo
本城 慎之介 氏

2/14 (金) 13:00~

T-10 あそびのなかの異・違・移

学校法人軽井沢風越学園理事長。5児の父。慶應義塾大学大学院在学中の1997年に三木谷浩史氏と共に楽天株式会社を創業...

こんな取り組みを
されています ▶▶ 元楽天副社長が軽井沢で挑む 新しい学校づくり

~こんな方におすすめ~

- ✓実体験から学びを生み出す教育ノウハウに関心がある方
✓移住・定住の促進を図り、教育の力を地域活性化につなげたい方



1. 多様な子どもたちが交流し、社会性が養われる

幼稚園から中学校までの子どもが一つの校舎で過ごす「混在校」の軽井沢風越学園。年齢やスキルが異なる多様な子どもたちの間で自然な交流が生まれることで...

2. 協働や実体験を重視した学びの実現

AIの進化は学習の個別化を促進する一方で、学びの孤立化や主体性の喪失につながる可能性があることを懸念しています...

3. 移住者増加による地域活性化

軽井沢風越学園は、町おこしにも大きな影響を与えています。開校により東京などの都市部から軽井沢への移住者が増加し...



福井県立大学 地域経済研究所 准教授
ウェルビーイング学会 理事
Sho Takano
高野 翔 氏

2/14 (金) 15:00~

T-11 ウェルビーイングを目指したまちづくり
まちに居場所と舞台を

ウェルビーイングを深める「居場所と舞台」に注目した研究・まちづくり活動を行う。2014-17年には、プータン王国にて、Gross National Happiness (GNH) を軸とした国づくりに協力...

こんな取り組みを
されています ▶▶ 幸せの国プータンや幸福度No1 福井県でウェルビーイング施策を実践

~こんな方におすすめ~

- ✓地域活性化にウェルビーイングの視点を取り入れた方
✓子どもの自己肯定感や社会性の育成に興味がある方



快適な歩行者空間の創出に向けた社会実験「ふくみち」プロジェクト

1. つながりが幸福度を高める

ウェルビーイングは単なる身体的・精神的健康だけでなく、社会的なつながりも包括した概念です。現代の孤独や孤立が人々の幸福感に負の影響を与える中で...

2. ウェルビーイングで町おこし

ウェルビーイングを高めるために、高野氏は福井市と協力して道を楽しむ「ふくみち」プロジェクトに取り組まれてきました。24時間営業の図書館を作ったり...

3. 自己肯定感と社会性を育むあそび

子どもにとってのあそびは、自己肯定感や社会性を育む重要な要素です。あそびの中で子どもたちは助け合いや挑戦、相互の寛容などを学び...



エッセイスト
メディアパーソナリティ
Keiko Kojima
小島 慶子 氏

2/14 (金) 17:00~

T-12 「ふつう」ってなんだろう？
~発達障害と生きる~

1972年生まれ。1995年学習院大学法学部政治学科卒業。TBS入社、アナウンサーとしてテレビ・ラジオに出演。1999年 第36回ギャラクシー賞、ラジオ部門 DJ パーソナリティ賞受賞...

こんな取り組みを
されています ▶▶ 自身の経験を踏まえ、発達障害への正しい理解と認識を広げていく

~こんな方におすすめ~

- ✓発達障害の特性を持つ子どもの教育に関わっている方
✓多様性のあるまちづくりや組織づくりに取り組む方

1. 発達障害への偏見をなくすために

子どもの時から、大人たちに「どうしてふつうにできないの？」と言われることが多かった小島氏。40歳を過ぎてから発達障害の一つであるADHD(注意欠如多動症)であると診断され...



日経 ARIA における人気連載「小島慶子の ARIA な一歩」。人生の次のステージに向けて、新たな気づきや挑戦が覗かれています。

2. 脳の多様性への理解を促す

近年では、ニューロダイバーシティ（脳・神経の多様性）という言葉も広まっています。これは、「普通の脳」と「普通ではない脳」の二つに分けるのではなく...

3. 自分自身の特性を大切に

この世に同じ脳みそは一つもないのだから、違っていて当たり前。答えは非常にシンプルでありながら、そこにたどり着けていない方も少なくはありません...

ジャクエツが初開催する「共遊空間EXPO」ではあそびを軸としたつながりやまちづくりについて、皆様と一緒に考えていきます。こどもに関わる社会課題は、一つの施設の中だけでは解決し得なくなっています...

誰もが一緒にあそべる遊具開発 RESILIENCE PLAYGROUNDプロジェクト



グッドデザイン大賞 (内閣総理大臣賞)



あそびから一番遠い子どもたちと、一緒にあそぶ日常をつくるために

RESILIENCE PLAYGROUND プロジェクト 開発プロセス



1. 医師、ケアスタッフ、保護者、地域のプレーヤーと連携してプロジェクトを開始



2. 感覚刺激への配慮やストレスの少ない環境づくりを目指して調査検証



3. 医療的ケア児も、健常とされる子どもと一緒に楽しめる分断のない遊具をデザイン

背景

医療的ケア児の現状として「3歳の子どものに友だちと一度も遊んだことがない」「遊ぶ機会が無く笑顔が少ない、ケアする人につく笑顔をする」などあそびから遠いことをきっかけに...

私たちは、遊具側から自分らしく遊ぶことや分けなくていいことの主張を試みしました。家と病院の往復から地域のあそび場に出るきっかけを作ったり、友だちと一緒に遊ぶための媒介になったりするような遊具の在り方を目指し...

デザインを実現した経緯と成果

最も重度な障がいをもつ子どもも健常とされる子どもまでを遊具の対象とし、「あそびたくてもあそべない」という社会の障がいを減らし、自分らしく楽しいと感じられる世界を目標にしました...

健常とされる子にも楽しい遊具であることも並行して検証し、障がい児専用にならないデザインとすることを徹底しました。結果、幼稚園、公園、商業施設など環境を問わず130基以上の遊具が設置されました...

プロダクト



※3点とも、共遊空間EXPOにて会場展示いたします



実は、みんなあそびをもっている。 RESILIENCE PLAYGROUND コンセプトムービーはこちら



遊具の研究・開発にあたっては、医療的ケア児の活動拠点として支援を行う一般社団法人Orange Kids' Care Lab.の医師でオレンジホームケアクリニック代表の紅谷 浩之氏が監修を行いました。



医師 / オレンジホームケアクリニック代表
紅谷 浩之
福井医科大学（現・福井大学）医学部卒業、福井県立病院、福井県内の診療所勤務を経て、2011年、在宅医療を専門に行う「オレンジホームケアクリニック」を開業...

2024年度グッドデザイン賞のテーマは、「勇氣と有機のあるデザイン」。5,773件の候補から、グッドデザイン大賞(内閣総理大臣賞)を受賞しました。



写真提供: 日本デザイン振興会

審査委員の評価コメント

「遊びは人間の根源的な欲望であり、創造力の源となる活動である。そんな遊びから最も速くに置かれた重度心身障がい児や医療的ケア児に向けたアプローチは海外を中心に広まりつつあるが、遊びを引き出すような工夫や事例はまだ少ない...

開発者のコメント

遊びと医療の間にある「遊べない」という状況、問いに対して向き合い、最初には小さく始まったプロジェクトです。監修いただいたオレンジックスケアラボの紅谷浩之先生をはじめ、ケアラボの子どもたちやケアスタッフの皆さん、福井県に住む地域のプレーヤーの皆さんなど様々な方たちに出会っていただき、常に医療的ケア児たちと一緒に遊びながら突き詰めていきました...

トークショーのお申込みについて

事前予約制 定員 300名
参加費 ¥3,300 (税込 / 1人1講座)
トークショーの内容は変更となる場合がございます。ご来場登録とは別にチケットの事前購入が必要です...

ご来場事前登録について

イベント会場への入場は無料(登録制)です。ご来場の際は、WEBサイトより事前ご来場登録の上、入場整理券を印刷してご持参いただけますようお願いいたします...

WEBサイトのご案内



kodomosummit.info
最新情報、申込みはWEBサイトで!



jakuets.co.jp
会社資料のご請求、ご相談などはこちら!

会場アクセス



大田区産業プラザ PiO
〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-20-20
電車でお越しの方:京急線「京急蒲田」駅より 徒歩3分
R線「蒲田」駅東口より 徒歩10分
車でお越しの方:会場地下駐車場は、台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください...

立場や領域を超えて、社会全体で子どもたちの未来を考える。
次の時代に挑むために、今までの自分を超えていく。